

しろやま



城山病院は患者さまのために存在します

2023年4月号

医療法人春秋会 城山病院

大阪府羽曳野市はびきの2-8-1

TEL 072-958-1000

編集・発行 情報システム課

Vol. 70



SPECIAL

城山病院 地域医療支援病院の役割と2023年度の目標とは



城山病院
院長 石橋 孝嗣

1978年の創設来、羽曳野市の市民病院としての役割を担うべく地域医療に取り組んできた城山病院。24時間365日、救急疾患に対応できる体制を整え、脳卒中や心筋梗塞を始めとする高度で専門的、かつ低侵襲な治療を行ってきた成果として、4月に大阪府より地域医療支援病院の認定を受けました。今年度の目標をお伝え致します。

地域医療支援病院としての役割を果たす

当院は高度で専門的、かつ低侵襲な急性期医療をより充実するために、昨年末にはロボット支援手術を行う医療機器「ダヴィンチ」を導入し、既に治療を開始し、実績を積んでいます。また、クリニックの先生方をはじめとした、地域の医療・介護・福祉関係の従事者の方々と連携を密に行うことで、急性期治療を必要とする患者様を紹介いただき、治療後すぐに生活基盤のある地域に帰還していただくという、地域内完結フローの一旦を担ってまいります。そのためにも地域の医療や介護・福祉関係の従事者の方々に対し、当院の急性期医療へのご理解を深めていただき、当院の医療をお役立ていただけるよう啓蒙活動にも取り組んでまいります。

大阪府がん診療拠点病院としての役割

高度で専門的かつ低侵襲な医療としては①ロボット支援手術による大腸がんを主としたがん治療、②ハイブリッド手術室でのカテーテルを用いた、胸を切開しない弁膜症治療、③同じく術中CTナビゲーションを用いた側弯症治療、④人工関節に置換する変形性膝関節症治療、⑤がん化学療法の外来治療、などを

推進してまいります。

また、当院の特徴の一つでもあります、脳疾患、骨折などの治療後のADL(日常生活動作)回復を目的としたリハビリによる治療を行う専用病棟を設置しており、治療に取り組んでまいります。

さらに緩和ケア対策やがん相談支援、がんサロンなどにも一層力を入れて、患者様を支援してまいります。

ヘルシーワークプレイスの実現でより健全な急性期医療を提供

近年、働き方改革を求められるようになり、当院としては、適切な勤務時間の管理、タスクシフト/シェアなどの取り組みをより一層進めていくと共に、ストレスやハラスメントの防止対策を充実させ、健全な職場環境(ヘルシーワークプレイス)の実現を目指します。さらに職員教育を充実させて一人一人が医療へのやりがいを深めていけるように取り組んでまいります。

経営基盤を強化し地域の皆様が安心できる急性期医療を提供

ここ3年間は新型コロナウイルス感染症の影響から、重点医療機関である当院は厳しい舵取りを余儀なくされてきました。来る5月8日から新型コロナの感染症分類が5類となることより、改めて経営基盤を見直し、再構築と強化に取り組んでまいります。

本年度も病院理念である「城山病院は患者様のために存在します」のもと、地域の皆様に安全で高度な急性期医療を提供し続けてまいります。



城山病院は「地域医療支援病院」の指定を受けました

2023年4月より、城山病院は地域医療支援病院として承認されました。地域医療支援病院とは、第一線を担うかかりつけ医を連携・支援する能力を備えた地域医療を支える病院として相応しい設備を持つ病院に対して、都道府県知事が承認しているものです。地域医療支援病院の役割を果たすと共に、より密着した地域連携を強化していきます。

城山病院は、「患者様のために存在します」という理念に基づき、地域の急性期医療の中核的な役割を担う病院を目指しております。救急医療では“断らない救急医療”を目指して、二次救急に加えて夜間救急にも対応。クリニックの先生から患者様のご紹介では、地域医療連携室が中心となり、医療機関との連携を行っています。

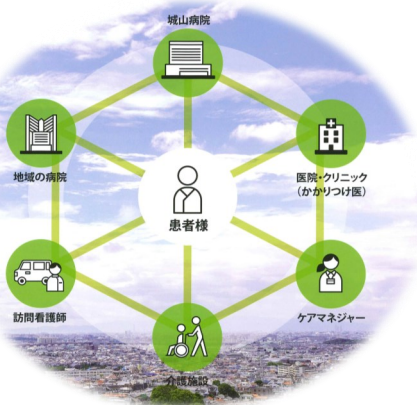
大阪府がん診療拠点病院に指定されていることもあり、様々な診療科・職種がシームレスに連携し、検査から治療、リハビリテーション、緩和ケア、退院後の生活を支える支援まで、一貫したがん診療を展開しております。

地域医療支援病院の役割

- ・紹介患者に対する医療の提供（かかりつけ医等への患者の逆紹介も含む）
- ・医療機器の共同利用の実施
- ・救急医療の提供
- ・地域の医療従事者に対する研修の実施



研修会の様子



クリニック（かかりつけ医）



普段の診療や
身近な相談場所
としての役割

専門的な検査や治療が
必要な時に紹介

連携

患者様の容態が安定したら
今後の継続的な診療を依頼

地域医療支援病院 （城山病院）



手術や検査、入院など
より専門的な医療の
提供としての役割

かかりつけ医を持ちましょう

何か症状がある場合は、まずかかりつけ医を受診し、手術など治療の必要性に応じて、当院宛の紹介状を作成してもらってください。当院への来院に際しては必ずその紹介状をお持ちください。

2022年の10月から医療制度の改定に伴い、かかりつけ医からの紹介状を持たずに受診された場合には、選定療養費を徴収することが厳格化されています。

しろやま講習会 『心不全に対する患者教育の有用性』



●2023年4月7日（金）
●17:45～18:30

講師：西山 正志（PT）

対象：医療従事者

今回のしろやま講習会の内容としては、心不全の基本的な病態理解と再発・再入院予防のための関わりをリハビリ目線で分りやすく説明します。城山病院以外の医療機関にお勤めの方も参加頂けます。当日参加可能ですので、ID/パスコードまたはQRコードからご登録ください。（事前登録制）

ID/パスコード・QRコードから参加をお願いします。

ID:816 1315 4244 パスコード:755823



患者様・家族様 マスク着用についてお願い

ご自身を感染から守るために

マスク着用が効果的です



高齢者



基礎疾患を有する方



妊婦

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

令和5年3月13日からマスクの着用は個人の判断が基本となりましたが、城山病院にご来院される際には、

高齢の方や重症化リスクの高い方への感染を防ぐために、マスクの着用

をお願いしております。

ご協力の程、宜しくお願い致します。

マスクを着用しましょう

